

施策の方向性 再生可能エネルギー源の有効利用

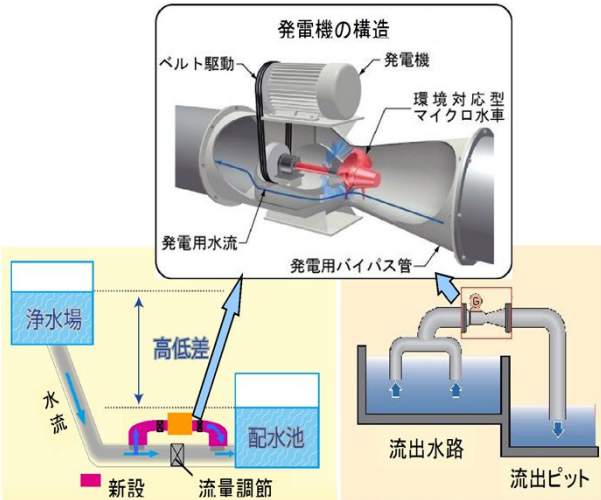
4 小水力発電の導入 上水 下水

取組概要	進行管理の指標	平成25年度の取組結果					
<p>○マイクロ水力発電事業 江ヶ崎発電所及び鷺沼発電所において、浄水場と配水池の高低差から生じる水の流れを利用したマイクロ水力発電を実施</p> <p>○小水力発電設備の導入 入江崎水処理センター西系再構築施設において、放流される処理水の水位落差を利用した小水力発電設備を導入し、地球温暖化対策に向けた取組を推進</p>	<p>○江ヶ崎発電所 基準電力量* 54万kWh/年 最低電力量 27万3,440kWh/年</p> <p>○鷺沼発電所 基準電力量 53万kWh/年 最低電力量 33万9,900kWh/年</p> <p>○入江崎水処理センター 発電量 約5万kWh/年</p> <p><small>*年間発電基準電力量 配水量の年間実績から発電量を算出し、水の運用や発電機の点検に必要な停止日数を考慮した計画値</small></p>	<p>○江ヶ崎発電所 平成25年度発電量 57万2,140kWh/年</p> <p>○鷺沼発電所 平成25年度発電量 69万6,920kWh/年</p> <p>○入江崎水処理センター 平成25年度発電量 約3万1,000kWh/年</p>					
		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">評価</td> <td>江ヶ崎・鷺沼</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>入江崎</td> <td>C</td> </tr> </table>	評価	江ヶ崎・鷺沼	A	入江崎	C
評価	江ヶ崎・鷺沼	A					
	入江崎	C					

3か年計画の総括	今後の取組					
<p>○江ヶ崎発電所及び鷺沼発電所については、平成23・24年度は、水道事業の再構築計画の実施に伴い、通常とは異なる水運用を行っていた期間があったため、基準電力量に達しなかったが、平成25年度は基準発電量を達成</p> <p>○再構築事業を進捗中の入江崎水処理センター西系再構築施設については、全体計画水量に合わせた設備設計となっていることから、目標の発電量は未達成</p>	<p>○マイクロ水力発電事業及び小水力発電による発電を継続実施</p>					
<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">評価</td> <td>江ヶ崎・鷺沼</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>入江崎</td> <td>C</td> </tr> </table>	評価	江ヶ崎・鷺沼	C	入江崎	C	
評価		江ヶ崎・鷺沼	C			
	入江崎	C				

[3か年の発電量] 単位: 万kWh/年

	江ヶ崎・鷺沼		入江崎	
	目標	結果	目標	結果
H23年度	約107	約90	約4	約2
H24年度		約94	約5	約3
H25年度		約127		約3

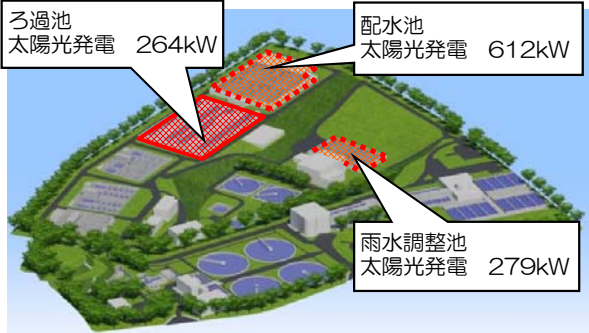


マイクロ水力発電・小水力発電の仕組み

5 太陽光発電システムの導入 上水 下水

取組概要	進行管理の指標	平成25年度の取組結果		
<p>施設更新等に合わせ太陽光発電システムを導入し、温室効果ガスの削減に努める。</p> <p>○長沢浄水場のろ過池に異物混入対策として設置するカバーの上部及び配水池・雨水調整池の上部に太陽光発電システムを導入し、場内使用電力の抑制に寄与</p> <p>○入江崎水処理センター西系再構築事業における第Ⅱ期事業完成に合わせ施設上部を有効利用し、太陽光発電システムの導入を予定</p>	<p>○長沢浄水場におけるろ過池の覆蓋、配水池・雨水調整池の上部への太陽光発電システムの設置は、平成24年度から平成26年度にかけて設置し、平成26年度中に稼働予定</p> <p>○入江崎水処理センター西系再構築事業における太陽光発電システムの導入を検討</p>	<p>○長沢浄水場における太陽光発電システム設備設置工事を施工</p> <p>○入江崎水処理センターへの太陽光発電システムの導入について検討を実施</p>		
		<table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B
評価	B			

3か年計画の総括	今後の取組		
<p>○長沢浄水場における太陽光発電システム設備設置工事の設計・施工</p> <p>○入江崎水処理センターへの太陽光発電システムの導入について検討を継続実施</p>	<p>【平成26年度】 ○長沢浄水場太陽光発電システム稼働 ○下水道施設の上部を利用した太陽光発電システム導入の検討</p> <p>【平成27年度以降】 ○生田配水池上部への太陽光発電システム設置工事の着工 ○下水道施設の上部を利用した太陽光発電システム導入の検討（入江崎水処理センター太陽光発電システムの着工は平成29年度以降を予定）</p>		
<table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	
評価	B		



長沢浄水場太陽光発電のイメージ

施策の方向性 ヒートアイランド現象の緩和

6 施設における植栽の保全と緑化整備 上水 工水 下水

取組概要	進行管理の指標	平成25年度の取組結果	
<p>樹木にはCO₂の吸収、大気の浄化、騒音緩和等、良好な自然環境を保つための機能があり、水道施設や下水道施設の敷地内に樹木を配置して適正な植樹管理を行うことにより、施設の景観の向上を図るとともに、ヒートアイランド現象の緩和に寄与する。</p>	<p>○施設の敷地内について、周辺の自然環境や景観に配慮しながら植栽を保全 ○施設再構築計画に伴う長沢浄水場の場内整備において、植栽等を可能な限り配置し、緑化整備をすることについて検討</p>	<p>○水道施設や下水道施設敷地内の植樹維持管理を実施 ○造園整備委託による植栽の適切な管理や職員による剪定・除草作業によって、植栽の保全が図れ、ヒートアイランド現象の緩和に寄与</p>	
		評価	B

3か年計画の総括	今後の取組
<p>○水道施設や下水道施設敷地内の植樹維持管理等を継続実施し、ヒートアイランド現象の緩和に寄与</p>	<p>○引き続き、各施設の植樹維持管理を実施し、施設の景観の向上を図るとともに、ヒートアイランド現象の緩和に寄与</p>
評価	B



麻生水処理センター